

## 社長就任にあたって

当社は、2001年に、NASDAQ-J市場（現ヘラクレス市場）へ上場を果たして以来、2004年には、持株会社体制へ移行し、M&Aによる事業拡大を行ってまいりました。

私は1991年から2005年まで代表取締役を務めた後退社しましたが、本年3月から常勤顧問として復帰し、創業時の原点に戻り営業利益・経常利益をあげると共に早期に株主還元を実施するため、以下の事を実行いたしました。

- ① 不採算事業からの撤退（赤字子会社2社の売却）
- ② 人員・経費・役員給与・外部支払手数料等の大幅な削減
- ③ 資産の精査による厳格な引当金の計上および償却

その結果、今期は月次で黒字が出せる体制が構築されました。

今後の経営方針としましては、事業の選択と集中の更なる推進および社員のモチベーションを高めるための諸方策を実施し、業績の向上を目指すとともに、当社を支える株主の皆様へは以下のことを実行し、期待に応えたいと考えております。

- ① 長期的に株式を保有していただくよう、中間配当を含む安定的な配当の実施および自己株の取得も含めた総合的な株主還元
- ② 役員・従業員持株会の拡大により、役職員一同が株主と同じ視点で事業を進める体制の強化
- ③ 役員報酬を業績および配当と連動させる体系の構築
- ④ M&Aを除くストックオプションの新規発行の禁止
- ⑤ 株式価値を毀損するようなMSCBの発行の禁止

当社役員・従業員一同、これからも企業価値および株式価値の向上に全力で取り組むことはもとより、あらゆるステークホルダーの要望に応えられるよう力を注いでまいります。

今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成20年10月1日  
株式会社フュージョンパートナー  
代表取締役社長 田村 健三